

## 1. 研究課題名

統合評価モデルを用いた気候変動統合シナリオの作成及び  
気候変動政策分析

## 2. 研究代表者氏名及び所属

増井利彦 ((独)国立環境研究所 社会環境システム研究領域)



## 3. 研究実施期間

平成 20～22 年度

## 4. 研究の趣旨・概要

地球温暖化問題は、100年以上の長期にわたる課題であるとともに、極めて大きな不確実性をもち、科学による解明と政策による対応の同時進行が必要な課題の一つである。こうした課題には、将来の様々な可能性を盛り込んだシナリオアプローチが有効である。

本研究は、これまでに開発してきた経済モデル、技術選択モデル、簡易気候モデル、温暖化影響モデル等を発展させるとともに、新たに排出詳細化モデル等を開発し、これらを統合することで、将来の社会経済活動、温室効果ガス排出量、気候変動、気候変動の影響を総合的かつ定量的に示した気候変動統合シナリオを作成し、低炭素社会の必要性およびその道筋を国際モデル比較なども活用して示すものである。

本研究の成果を通じて、京都議定書の目標達成やポスト京都の議論など温暖化政策の検討に資する分析結果の提供が期待でき、分析対象である日本および中国、インド、タイ等の国々における温暖化対策への貢献が期待できる。また、社会経済・気候・影響を統合した気候変動統合シナリオや、アジアの視点を加えた経済・排出シナリオの定量化は、IPCC 第5次評価報告書に向けた新しいシナリオの作成に貢献し、長期的・国際的な温暖化政策をわが国が先導することが期待できる。

## 5. 研究項目及び実施体制

- ① 統合評価モデル開発と世界排出シナリオ、気候変動統合シナリオの作成  
( (独)国立環境研究所 )
- ② 排出シナリオの詳細化に関する分析 ( 京都大学 )
- ③ 国別排出シナリオの作成 ( みずほ情報総研(株) )

6. 研究のイメージ

